

# 学長定例記者会見要項

日 時: 令和5年10月5日(木) 11:00~11:45

場 所: 法人本部第一会議室(小白川キャンパス法人本部棟3階)

#### 発表事項

1. 山形大学が県の野球競技団体と連携協定を締結 ~山形県野球連盟・山形県高等学校野球連盟~



- 2. カーボンニュートラルに貢献するキャンパスを目指して〜小白川キャンパスで「カーシェア リング」のサービス提供開始〜
- 3. データ駆動型課題解決スキルセット講座~企業研修と学生教育をつなぐ 新たな価値創生~



- 4. 社会人向け「地域防災力向上セミナー」を開講します **YEX** Yamagata Catalon Corporation マ山形県内の災害や加工食品の活用を学ぶオンライン講座と避難所設営ワークショップ~
- 5. 惑星探査機の放熱面に対するダスト付着の影響を解明
- 6. 巻機山(まきはたやま:新潟県)で87年ぶりに樹氷(アイスモンスター)が確認されました

#### お知らせ

- 1.学長特別講演会~つなぐちから。山形大学~を開催します
- 2. 山形大学学生チャレンジプロジェクト 福島の今、私たちにできることを考える。
- 3. 小白川キャンパスで今秋実施の社会人向け講座〜健康経営、ドローン、3D プリンタなどさまざまなジャンルの講座を開講〜 **YEX** Yamagata University states of service or a representation of the property of the property
- 4. やまがた進学大交流フェスタに参加します
- 5. 山形大学フットサル大会を10月29日(日)に開催します ~学部の垣根を越えた交流を目指して~
- 6. 「インクルーシブ防災」公開研修会開催~災害時要配慮者(児)のニーズを知る研修~
- 7. 共生社会の実現を目指した新たな学びの場の創造~山大生と聾学校生の交流"和 Be"を通して~
- 8. 山大生が地元企業の若手社員を取材・情報発信~Instagram「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」第4弾~

#### (参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:令和5年11月2日(木)11:00~11:45

場 所:法人本部第一会議室(小白川キャンパス法人本部棟3階)

#### 学長定例記者会見(10月5日)発表

1. 山形大学が県の野球競技団体と連携協定を締結

~山形県野球連盟・山形県高等学校野球連盟~

学 長

小白川キャンパス長

健康と学びのサポートセンター センター長

山形県野球連盟 会長

山形県高等学校野球連盟 会長

CWB Wanagata University

たまて ひでとし **玉手 英利** 

大四 彰止ますき中西 正樹

っちだ よしお 土田 良雄 たかはし りょうじ

たかはし りょうじ 高橋 良治

2. カーボンニュートラルに貢献するキャンパスを目指して〜小白川キャンパスで「カーシェアリング」のサービス提供開始〜

小白川キャンパス長

ネッツトヨタ山形株式会社 代表取締役社長

大西 彰正

たかはし おさむ 高橋 修

3. データ駆動型課題解決スキルセット講座〜企業研修と学生教育をつなぐ新たな価値創生〜



学術研究院 教授(理学部担当)/データサイエンス教育研究推進センター長

まくの たかし 奥野 貴士 こばやし きょし 小林 聖志

株式会社どうぐばこ 代表取締役

4. 社会人向け「地域防災力向上セミナー」を開講します

Yamagata University
Extension service
organization

~山形県内の災害や加工食品の活用を学ぶオンライン講座と避難所設営ワークショップ~

学術研究院 教授(地域教育文化学部担当)

学術研究院 講師(地域教育文化学部担当)

エクステンションサービス推進本部コーディネーター

ー**クショップ**〜 ぉぉもり かつら 大森 桂

くまがい まこと 能**谷** 誠

まっだ よう 公田 陽

5. 惑星探査機の放熱面に対するダスト付着の影響を解明

学術研究院 准教授(機械システム工学)

ごうのめ ひろき 江目 宏樹

6. 巻機山(まきはたやま:新潟県)で87年ぶりに樹氷(アイスモンスター)が確認されました。

山形大学蔵王樹氷火山総合研究所 副所長

かなぎさわ ふみたか

# PRESS RELEASE



令和5年(2023年)10月5日

# 山形大学が県の野球競技団体と連携協定を締結 〜 山形県野球連盟・山形県高等学校野球連盟 〜

#### 【本件のポイント】

- それぞれの資源や機能等を活用しながら相互に協力し、本学の「共創拠点」化を図り、スポーツを通じた地域貢献・地域活性化及びスポーツ文化の振興と発展に寄与することを目的に締結
- 本学が県内のスポーツ競技団体と連携協定を締結するのは、令和3年度の特定非営利活動法人山形県サッカー協会、本年4月の山形県ラグビーフットボール協会、一般財団法人山形陸上競技協会に続き4件目
- 互いに連携・協働することで競技人口の増加や指導者の育成などスポーツの技術力・競技力向上に寄与し、相乗効果による本学の教育、研究への波及と好循環に繋がることの期待



#### 【概要】

山形大学(学長: 玉手英利)は、令和5年10月5日に山形県野球連盟(会長: 土田良雄)及び山形県高等学校野球連盟(会長: 髙橋良治)と三者による包括連携協定を締結しました。本学が県内のスポーツ競技団体と連携協定を締結するのは、令和3年度の特定非営利活動法人山形県サッカー協会、本年4月の山形県ラグビーフットボール協会、一般財団法人山形陸上競技協会に続き4件目です。

この協定締結は、それぞれの資源や機能等を活用しながら相互に協力し、山形大学の教育及び研究の充実・発展を図り、さらに野球を通じた地域貢献・地域活性化及びスポーツ文化の振興と発展に寄与することを目的としたものです。各協会それぞれと連携し協働することで、本学施設が地域の人々と連携し交流できる「共創」の場として地域連携に貢献することを目指します。さらに、大学の施設に「大学の知」という付加価値を投入し、一般の公共施設では実現できない大学ならではの地域貢献を行うことで、相乗効果による教育、研究への好循環に繋がることが期待されます。

また、この度の締結を記念して両連盟からそれぞれ、小白川キャンパス多目的グラウンドでの活用を目的として野球関連備品(ベンチ型収納ボックス及び防球・集球ネット)の寄贈を受けました。今後、両連盟との共同事業はじめ本学硬式野球部の活動などで活用して参ります。

#### 【背景】

文部科学省は、新しい価値と社会的変化(イノベーション)の創出のために、国立大学等キャンパスの「共創拠点(イノベーション・コモンズ)」化を推進し、国立大学へのソフト・ハード両面での支援を強化しています。そして、令和3~4年度にかけて、小白川キャンパスの屋外体育施設が全面改修されたことを受けて、本学ではこれらリソースの活用を通したステークホルダーとの共創活動の可視化、そして地域課題解決の一助となることを目指しています。この度の締結は、本学と競技団体との連携を通して、競技者・指導者の育成、スポーツ文化の振興、そして地域活性化のために、より強固で持続的な三者の連携と発展を期して行ったものです。

#### 【今後の展望】

小中学生対象のスポーツ教室や各種スポーツ指導者養成等の拠点として本学施設を活用してもらい、競技人口の増加やスポーツの技術力・競技力向上に寄与し、本学施設が地域の人々が連携し交流できる「共創」の場になることを目指します。また、単にグラウンドを開放するだけではなく、「大学の知」という付加価値を投入することで新たな教育プログラムを開発するなど、一般の公共施設では実現できない大学ならではの地域貢献を行うことで、相乗効果による教育・研究への波及と好循環に繋がることが期待されます。

お問い合わせ

健康と学びのサポートセンター(CWB) センター長 中西正樹(学術研究院 教授(地域教育文化学部長))

TEL 023-628-4428 メール yu-cwb@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

#### 【協定の内容】

協定の名称: 国立大学法人山形大学と山形県野球連盟並びに山形県高等学校野球連盟との包括連携協定書

締結年月日: 令和 5(2023)年 10月5日

期 間: 令和6(2024)年3月31日まで(更新有り)

目 的: 両機関の包括的な連携のもと、それぞれの資源や機能等を活用しながら相互に協力し、山形

大学の教育及び研究の充実・発展を図り、もって野球を通じた地域貢献・地域活性化及びス

ポーツ文化の振興と発展に寄与すること

連携内容: (1) 双方が有する知的資源、人的資源、及び物的資源の相互活用に関すること

(2) 双方が共同で実施する事業の企画、調整、及び推進に関すること

(3) その他、目的を達成するために必要な事項に関すること

寄贈品:屋外ベンチ型収納ボックス 4台(山形県野球連盟様から)

硬式野球用防球ネット 計3台(山形県高等学校野球連盟様から)

## PRESS RELEASE



令和 5 年(2023年)10 月 5 日







# 山形大学 X 55th での カネリント コタ山形

# カーボンニュートラルに貢献するキャンパスを目指して ~小白川キャンパスで「カーシェアリング」のサービス提供開始~

#### 【本件のポイント】

- ●本日(10月5日)から、ネッツトヨタ山形とコラボ して、小白川キャンパスで学生と教職員向けに「カー シェアリング」のサービス提供を開始いたします。山 形大学では初めての例になります。
- ●今回のカーシェアリングサービスは、8月に既存の駐 車場の一部をコインパーキングとしてオープンし、9 月にシェアサイクル(山形市コミュニティサイクル) のサービス提供を開始しましたが、それらに引き続 き、モビリティ面での快適さの向上やカーボンニュー トラルの実現を目指して実施した取組です。
- ●小白川キャンパスでは、モビリティ面での快適さの向 上やカーボンニュートラルの実現を目指すとともに、キャンパス構内の車両通行制限や自転車を降りて通行する取 組なども行っており、こうした取組を通じて、誰もが安心してゆったりくつろぐことのできるキャンパスづくりを 推進してまいります。



#### 【概要】

山形大学小白川キャンパスは、将来ビジョンに掲げる「つなぐちから。山形大学」をキーワードに、多様な人 々が集い、安全安心な環境でのびやかに活動する「コモンズ」として、キャンパスのサービス機能を拡張し、様 々なパートナーと共に地域の活性化に貢献することを目標の一つに掲げ、その一環でグラウンドと多目的グラウ ンド(野球場)をリニューアルし、様々な事業を進めております。

本日(10月5日)から、ネッツトヨタ山形とコラボして、小白川キャンパスで学生と教職員向けに「カーシ ェアリング」のサービス提供を開始いたします。県内の大学では東北芸術工科大学に続き2例目で、山形大学で は初めての例になります。

今回のカーシェアリングサービスは、8月に既存の駐車場の一部をコインパーキングとしてオープンし、9月 にシェアサイクル(山形市コミュニティサイクル)のサービス提供を開始しましたが、それらに引き続き、モビ リティ面での快適さの向上やカーボンニュートラルの実現を目指して実施した取組です。なお、11月には、学 生寮と結んだスクールバスの運行も計画しています。

小白川キャンパスでは、モビリティ面での快適さの向上やカーボンニュートラルの実現を目指すとともに、キ ャンパス構内の車両通行制限や自転車を降りて通行する取組なども行っており、こうした取組を通じて、誰もが 安心してゆったりくつろぐことのできるキャンパスづくりを推進してまいります。

#### 【カーシェアリングサービスの内容】

所 在 地:山形大学小白川キャンパス(山形市小白川町 1-4-12)

基盤教育1号館北側駐車場(のぼりが目印)

利用台数:アクア1台

(まずは1台から。稼働状況に応じて増やしていく。)

利用料金:6時間以内15分ごと150円、6時間まで3,300円、

12時間まで5.450円、24時間まで6.600円

(山形大学の特別料金を適用)

※ガソリン代込みの料金

※トラブル発生のサポートは、TOYOTA SHARE お問い合わせ窓口(受付時間/24 時間年中無休)

無料 TEL: 0800-666-2077 にてご対応いたします。

※事故発生時の補償も、TOYOTA SHARE で対応いたします。 (対人補償無制限、対物補償無制限等。但し免責あり)

#### 【カーシェアリングオープリングセレモニー】

実施日: 令和5年10月5日(木) 本記者会見終了後おおむね 12時15分から(30分程度)

場 所: 基盤教育1号館北側駐車場

出席者: 【山形大学】 (教職員代表) 大西 彰正 小白川キャンパス長

(学生代表) 複数出席予定

【ネッツトヨタ山形】 髙橋 修 代表取締役社長

【当日の流れ】1. 開会 (司会:ネッツトヨタ山形(株)担当者)

2. 挨拶 ネッツトヨタ山形株式会社 代表取締役社長 髙橋 修

山形大学 小白川キャンパス長 大西 彰正

3. 出発式 山形大学の学生の皆様にご協力いただき、カーシェア NETZ GO!の デモンストレーションを致します。

<内容>

- ①スマホで利用を開始する
- ②鍵のアンロック
- ③車に乗り込み、エンジン始動
- 4駐車場を移動
- ⑤返却手続き

\*デモンストレーション終了後、質疑応答のお時間をもうけさせて頂きます。 尚、スマホの操作方法については、セレモニー会場で配布いたします「TOYOTA SHARE ご利用ガイド」に詳しく掲載しておりますので、ご参照願います。

本記者会見が終了しましたら、オープニングセレモニーの取材を是非よろしくお願いいたします。

お問い合わせ

国立大学法人山形大学小白川キャンパス事務部総務課 佐竹

TEL 023-628-4112 メール yu-kjkacho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ネッツトヨタ山形株式会社 総務経理チーム 坂野

TEL 023-623-0502 メール sakano@netz-yamagata.co.jp



# PRESS RELEASE



令和5年(2023年)10月5日

# 「データ駆動型課題解決スキルセット講座」を開講します ~企業研修と学生教育をつなぐ新たな価値創生~

#### 【本件のポイント】

- (株) どうぐばことデータサイエンス教育研究推進センター (YUDS) が協働で、 企業内研修制度と学生のスキルアップ講座を融合した社会人と学生の共同講座「データ駆動型課題解決スキルセット講座」を開講します。
- 全10回のプログラムで構成し、オンライン形式(一部対面)で行います。前半はイントロダクションと座談会の後、基礎的な統計学・機械学習のスキルを習得します。後半は、企業から提供された実データを元に分析・可視化した上で、受講者は議論を行いながら課題を発見し、課題解決のアイデアや新たなビジネスモデルの提案を行います。
- 受講対象者は企業の社会人と、本講座に興味を持つ本学の学生(文系理系を問わず)。カリキュラムを修了した受講者には修了証を授与します。



#### 【概要】

AI・デジタル技術の発展により日本の産業構造が急速に変化するなか、企業の持続的な成長・経済活動を維持するためには、収集・分析したデータから新たな価値を見出し、データを元に意思決定を行う思考力(データ駆動型思考)と、周囲と協力しながら課題解決に導くことのできるスキルを有する人材の育成が急務です。

(株) どうぐばこと山形大学データサイエンス教育研究推進センターが、社内、学内教育に関する課題や悩みについて議論を行いました。本学の数理・データサイエンス・AI 教育における課題の一つは、本学の優れた講義群をサポートし、より実践的なスキルアップへと導くセミナーや企画が少ないことにありました。学生のキャリアに対する講義の位置付けを学生自身が認識する機会が必要です。一方で、山形県内の多くの企業は中小企業であり、生成系 AI の登場や発注元企業のシステム内製化による受注減が危惧されています。これまでの受託開発中心のビジネスモデルからの転換、地域に根差した新しい顧客開拓が求められるなか、産業分野を問わずデータ駆動型思考力とデータ活用スキルを持った人材の養成が必要です。今回、両者の課題と目標が合致し、協働開発による「データ駆動型課題解決スキルセット講座」の開設に至りました。

本講座では、企業から提供された実データを元に分析、可視化して課題を発見し、そこから新たなアイデアや価値を見出す思考を養います。データ駆動型思考による、データ分析の実践演習を行いながら、社会人と大学生が協働で課題を解決するためのスキルセットを学びます。さらに、互いに議論を行いながら学習を進めることで、新たなアイデアの創発が期待されます。

本講座をとおし、社会人のリスキリングや DX 活用人材の増加に貢献するとともに、学生の社会に対する関心を引き出し、キャリアップにつなげることで、複雑な課題を抱えた地域社会に対応できる人材の育成を促進します。

#### 【講座の内容】(1コマ=90分)

① **データ駆動型思考とこれからの社会** [オンライン(一部対面)]

第1回 開講式/イントロダクション 11月上旬

第2回 受講者と講師による座談会 ル

② 統計解析・機械学習の基礎と演習 [オンライン(一部対面)]

第3、4回統計解析の基礎と演習11月中旬第5回機械学習の基礎と演習11月下旬

③ **データ活用と課題発見** [オンライン (一部対面)]

第6~9回実データを使ったグループワーク12月上旬~第10回成果発表会/修了式1月中旬

#### 【講師】

・脇 克志 (理学部 教授) |データ解析など

・奥野 貴士(理学部 教授)|データ共有、デザイン思考など ほか、YUDSセンター専任教員

【講座の概要】※詳細はチラシおよびホームページでご確認ください。

[期間] 2023年11月から2024年1月まで全10回

「開催形式 オンライン形式 (一部対面)

[対象] 企業・山形大学生

「受講料」 無料

[詳細] https://yamagata-univ-derp.org/?p=4540

【主催】 株式会社どうぐばこ

山形大学データサイエンス教育研究推進センター(YUDS)

【事業名】 経済産業省「高等教育機関における共同講座創造支援事業」令和5年度採択事業

#### ~共同講座への参画を希望する企業の皆様へ~

本学では、今後も企業と学生の共同講座を企画して参ります。ご興味のある企業・団体のご担当者様は下記までお問合せください。

お問い合わせ

山形大学データサイエンス教育研究推進センター

TEL: 023-628-4589 メール: yu-derp-info@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

受講料無料

株式会社どうぐばこ/山形大学データサイエンス教育研究推進センター

受講期間 2023年11月~ 2024年1月

# スキルセット



企業内研修制度と学生のスキルアップ講座を融合した社 会人と学生の共同講座を開講します。

企業から提供された実データを元に分析・可視化し、受 講者間で議論を行いながら課題を発見、課題解決のアイデ アや新たなビジネスモデルの提案を行います。文系理系を 問わず、本講座に興味のある方は是非、受講ください!

## 

時間: 各回16:20~17:50 ※日時は変更になる可能性があります

#### データ駆動型思考とこれからの社会

01 開講式/イントロダクション 11. 2 🖘

02 受講者と講師による座談会 11. 9 🚭

#### 統計解析・機械学習の基礎と演習

03 統計解析の基礎と演習 11.16 04 統計解析の基礎と演習 11.22 05 機械学習の基礎と演習 11.30

#### データ活用と課題発見

06 実データを使ったグループワーク | 12./7 **4** 

07 実データを使ったグループワークII 12.14

08 中間報告会 12.21 🕏

09 実データを使ったグループワークIII 1.11

10 成果発表会/修了式 1.18

●カリキュラムを修了した受講者には、修了証を授与します

#### 象位蓋受

山形大学の学生

【推奨】 学部3年~4年生、大学院生(※文系理系を問わず)

#### 

オンライン(Zoom) + 一部対面 【会場】理学部2号館5階511(データサイエンス多目的ホール)

前半はデータ駆動型思考、統計学、機械学習の基礎をオン ラインで習得します。後半のグループワークでは、企業の 実データ【デニム商品の販売データ】を利用し、課題を抽出 しながら、売上予測や商品開発、課題などをグラフで可視 化、提案してみましょう。







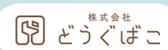
#### 

下記のURLもしくはQRコードよリホームページにアクセス し、申込フォームに必要事項をご記入の上、送信ください。

URL https://yamagata-univ-derp.org/?p=4540



申込締切



お問合せ先: データサイエンス教育研究推進センター



## PRESS RELEASE



令和5年(2023年)10月5日

# 社会人向け「地域防災力向上セミナー」を開講します

~山形県内の災害や加工食品の活用を学ぶオンライン講座と避難所設営ワークショップ~

#### 【本件のポイント】

- ●地域の防災力の向上を目的に、エクステンションサービス推進本部と災害環境科学研究センターが主催する、社会人を対象とした防災セミナーです。
- 自宅や職場から気軽に何度でも受講できるオンライン講座では、山形県の例をもとに災害について学ぶほか、防災や加工食品の活用への理解を深めます。
- 12月9日には山形市の指定避難所・指定緊急避難場所に指定されている山形大学小白川キャンパス体育館を会場とした、避難所設営ワークショップを行います。



#### 【概要】

近年、災害が激甚化し、その頻度も高まりつつあるなか、地域住民の自助・共助による防災活動がより一層もとめられています。山形大学エクステンションサービス推進本部と災害環境科学研究センターでは、地域の防災力向上を目的とした社会人向けセミナーを開講します。オンデマンド講座で専門性に基づく最先端の災害発生メカニズムや防災の心構え、加工食品の活用についての理解を深めた後、体験型の避難所設営ワークショップを行うことで、実践的な地域防災力の構築を目指します。地域の防災について、山形大学で一緒に考えてみませんか。

#### 【講座の構成】 ※詳細はチラシおよびホームページでご確認ください。

[オンライン]

<第1回> 山形県の活断層と地震活動

<第2回> 山形県の水害・土砂災害:令和4年の豪雨災害を例に

講師 | 本山功 教授(理学部 主担当/専門 地質学・古生物学)

<第3回> 身近な災害への備え 講師 | 石垣和恵 准教授(地域教育文化学部 主担当/専門 家庭科教育学)

<第4回> 災害時における加工食品の活用

講師 | 大森桂 教授(地域教育文化学部 主担当/専門 食教育)・一般社団法人 日本即席食品工業協会「ワークショップ

◇避難所開設と運営協力

講師 | 熊谷誠 講師 (地域教育文化学部 主担当/専門 地理学、社会安全システム科学、防災教育) ◇避難所開設と運営体制 〈避難所体験振り返りWS 講師 | 石垣和恵 准教授・熊谷誠 講師

#### 【受講いただきたい対象】

- ・防災・減災に関心がある市民の方
- ・自治会などの避難所運営担当者の方
- ・山形県防災士養成研修講座受講者ならびに修了者の方

【講座の概要】 ※詳細はチラシおよびホームページでご確認ください。

「日時・期間」 2023年11月1日 (水) からオンデマンド講座を配信します

2023年11月16日(木)にオンライン第4回講座をリアルタイム配信します(見逃し配信あり)

2023年12月9日(土)にワークショップを開催します

[受講料]4,000円対象]社会人[定員]20名

[詳細・申込] https://www.y-ex.jp/extension/post-64.html

【主催】 山形大学エクステンションサービス推進本部

山形大学災害環境科学研究センター

【後援】 山形県

山形市

【協力】 一般社団法人 日本即席食品工業協会

株式会社 出羽紙器製作所

#### 【エクステンションサービス推進本部について】

地域社会のニーズに基づき、大学の幅広い知見を生かした地域社会のための教育を一元的に提供する新組織として、2020年8月1日に発足。社会人のスキルアップや、人生100年時代に需要が高まる生涯教育など、各世代が求める学びの機会をオーダーメイド教育プログラムとして提供していくことを目的としています。

本学が保有する様々な領域の知見を活用し、社会人向けオリジナル講座「エクステンションぷらす」や、全 40 コマのオンライン講座「多文化共生スキルアップ講座」などを企画してきました。

#### 【山形大学災害環境科学研究センターについて】

山形大学認定研究所として 2021 年 3 月 1 日に開所。山形県全域の自然災害・自然環境をテーマにした複数の専門分野にまたがる認定研究所は本学初です。山形県には、日本百名山にも名を連ねる数々の名峰、日本三大急流の一つ・最上川、奇岩に建立された名勝・立石寺など、自然の魅力に溢れています。一方で、近年では山形県沖地震や豪雨による最上川氾濫が発生し、今後も風水害、火山噴火、内陸直下型地震、日本海の津波など安全を脅かす種も尽きません。同センターでは、山形県の自然災害と自然環境の特性を探究し、高度な知識と防災に資する情報を地域へ発信するための拠点を形成していきます。

■山形大学災害環境科学研究センターHP https://yu-rcned.amebaownd.com/

お問い合わせ

エクステンションサービス推進本部(松田)

TEL: 023-628-4779 メール: yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

市指定避難所での避難所設営ワークショップ

近年、災害が激甚化し、その頻度も高まりつつあるなか、地域住民の自助・共助による防災活 動がより一層もとめられています。山形大学エクステンションサービス推進本部と災害環境科 学研究センターでは、地域の防災力向上を目的とした社会人向けセミナーを開講します。オン デマンド講座で専門性に基づく最先端の災害発生メカニズムや防災の心構え、加工食品の活用 についての理解を深めた後、体験型の避難所設営ワークショップを行うことで、実践的な地域 防災力の構築を目指します。地域の防災について、山形大学で一緒に考えてみませんか。



2023年11月配信



#### オンデマンド配信

※各回45分の講座です(11/1~12/15配信予定)

- 第1回 山形県の活断層と地震活動
- 第2回 山形県の水害・土砂災害 : 令和 4 年の豪雨災害を例に
  - ◆講師 | 本山功 教授(理学部 主担当/専門 地質学·古生物学)

#### 第3回 身近な災害への備え

◆講師 | 石垣和恵 准教授(地域教育文化学部 主担当/専門 家庭科教育学)

# Zoomによる リアルタイムオンライン配信 11/16(木)18:00~19:00 (見逃し配信あり)

#### 第4回 災害時における加工食品の活用

◆講師 | 大森桂 教授(地域教育文化学部 主担当/専門 食教育) 一般社団法人 日本即席食品工業協会





対象

◎防災・減災に関心がある市民の方

- ◎自治会などの避難所運営担当者の方
- ◎山形県防災士養成研修講座受講者ならびに修了者の方

#### ワークショップ

日時 | 12月9日 (土) 13:00~16:10 会場 | 山形大学小白川キャンパス 第2体育館

#### 13:00-13:50 避難所開設と運営協力

◆講師 | 熊谷誠 講師 (地域教育文化学部 主担当) (専門 地理学、社会安全システム科学、防災教育)

14:00-15:20 避難所開設と運営体制

15:30-16:10 避難所体験振り返りWS

◆講師 | 石垣和恵 准教授 / 熊谷誠 講師

受講料

**4,000** 円 ※支払手数料別 ※講座受講料&WS参加費

定員

20 名 (先着順)

申込方法

エクステンションサービス推進本部の ホームページからお申込みください (定員になり次第終了)

https://www.y-ex.jp/











山形県 山形市









# オンライン講座

#### 第1回 山形県の活断層と地震活動

2019 年 6 月に山形県沖の日本海で地震が発生し、鶴岡市で震度 6 弱の揺れが観測されました。このほかにも山形県内には多数の活断層が存在し、それらは東北地方で最も発生確率が高いとされています。身近な地震のリスクについて解説します。

#### 第2回 山形県の水害・土砂災害 :令和4年の豪雨災害を例に

山形県南部における令和 4 年 8 月豪雨は、線状降水帯の発生や、警戒レベル5の大雨特別警報の発令など、山形県民が初めて経験する記録的なものとなりました。飯豊町における災害の特徴と原因や対策について解説します。

#### 第3回 身近な災害への備え

自然災害発生前に備えておくと良いことを物心両面から解 説します。備えの基本とされる非常持ち出し袋の目的とその 内容の検討や、被災時の避難所生活に向けて今から検討すべ きことなどを一緒に考えましょう。

#### 第4回 災害時における加工食品の活用

被災時には、公的支援だけでなく、民間企業からの支援も 重要な役割を担っています。災害時に食品企業はどのような 支援活動を行っているのかをお聞きし、今後、産官学の連携 によりどのような支援が有効か意見交換をします。また、災 害時の加工食品の活用のポイント等をお聞きします。



# ワークショップ

日時 | 12月9日(土) 13:00~16:10 会場 | 山形大学小白川キャンパス 第2体育館



#### 13:00-13:50

#### 避難所開設と運営協力

災害発生時に開設される避難所について その開設や運営時の留意点、そして運営 主体に関する基本的な知識について最近 の災害での事例を踏まえながら学んでい きます。

#### 14:00-15:20

#### 避難所開設と運営体制

受講者が高齢者や妊婦、幼児などの多様な立場の避難者に扮して、受付から段ボールベッドと簡易トイレ組み立て、食料配給、就寝、翌朝の食事の準備などを時系列で体験します。

#### 15:30-16:10

#### 避難所体験振り返りWS

避難所開設・運営体験活動の感想を交流したり、受講者が暮らす地域の防災対策などを情報交換したりします。また、 先進地域の防災対策をご紹介します。

# 問い合わせ

山形大学エクステンションサービス推進本部

**©** 023-628-4779

# PRESS RELEASE



令和5年(2023年)10月5日

# 惑星探査機の放熱面に対するダスト付着の影響を解明

#### 【本件のポイント】

- ●惑星探査機に搭載されている放熱面 (ラジエーター) からの熱放射に 対するダスト粒子の影響について、研究を行いました。
- ●ダスト付着効果を推定するため、熱放射性能変化を定量化するパラメータを世界で初めて提案し、ダストの付着は放熱面の熱放射性能を変化させることを明らかにしました。
- ●今後の宇宙探査事業での応用が期待され、研究が加速することが期待 されます。



#### 【概要】

はやぶさ2等の惑星探査機において、惑星サンプルを採取する方法として、惑星表面接近時に探査機から惑星表面に弾丸を発射し、その衝突によって舞い上がったサンプルを採取します(タッチダウン)。2019年7月11日(日本時間)、「はやぶさ2」が小惑星リュウグウに2度目のタッチダウンを行った際に、タッチダウンの様子を撮影しました。撮影された動画から、当初予想していたよりも大規模なダストの舞い上がりが確認され、舞い上がったダストが放熱面(ラジエーター)に付着し、熱放射(熱を逃がす)性能に影響を与える可能性が懸念されました。

山形大学大学院理工学研究科機械システム工学専攻の江目宏樹准教授と修士課程の海野嵩史氏、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の太刀川純孝主任研究員の研究グループは、実験と電磁場解析を行い、新たな評価パラメータを提案し、ダストの付着が放熱面(ラジエーター)の熱放射性能に与える影響について、調査しました。ダストの付着は放熱面の熱放射性能を変化させ、その影響は粒子の付着が増加するにつれて増大することを示しました。将来の惑星探査機の熱設計に大きく貢献することが期待されます。

本研究成果は、2023年8月8日付で宇宙技術の専門誌 Acta Astronautica に掲載されました。

DOI: https://doi.org/10.1016/j.actaastro.2023.07.033

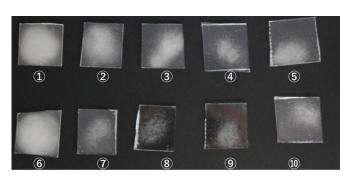


図1:模擬月砂(レゴリス)が付着したサンプル写真

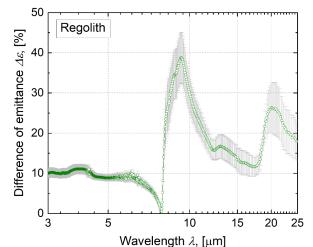


図2:模擬月砂(レゴリス)が放熱面の分光放射率(熱放射性能に相当)に与える影響に関する測定結果

#### ※用語解説

- 1. ダスト:天体の表面上に見られる岩石由来の粒子やかけら
- 2. 月砂(レゴリス):月など大気のない固体天体の表面に存在するダスト堆積層
- 3. 分光放射率:特定波長における放射体の放射発散度とその放射体と同温度の黒体の放射発散度との比

お問い合わせ

山形大学学術研究院准教授 江目宏樹(大学院理工学研究科/機械システム工学) TEL 023-626-3103 メール gonome@yz.yamagata-u.ac.jp

PRESS RELEASE



令和5年(2023年)10月5日

# 巻機山(まきはたやま:新潟県)で87年ぶりに 樹氷(アイスモンスター)が確認されました

#### 【本件のポイント】

- ●2023 年 1 月 7 日、巻機山 (新潟県) において 87 年ぶりに樹氷 (アイスモンスター) が確認された。
- ●樹氷 (アイスモンスター) ができるためには過冷却水滴と雪が必要である。雪は巻機山を覆っている吹雪から、過冷却水滴は巻機山の西側にある妙高高原から供給されたと推定される。
- ●2023 年 1 月上旬には、白山(石川県)においても樹氷(アイスモンスター)が報告されていることから、新潟から北陸にいたる地域で樹氷(アイスモンスター)ができやすい気象条件が整ったと推定される。



巻機山の樹氷 (アイスモンスター) (2023年1月7日)

#### 【概要】

巻機山(新潟県)において、2023年1月7日、樹氷(アイスモンスター)が確認されました。巻機山における樹氷の確認は1936年に田邉(濱田)和雄が報告して以来87年ぶりのことです。巻機山で樹氷ができるためには過冷却水滴と雪が必要です。雪は冬季に巻機山を覆っている吹雪から、過冷却水滴は巻機山の西側にある妙高高原(妙高山〜飯綱山〜黒姫山)から供給されたと推定されます。同時期、白山(石川県)においても樹氷(アイスモンスター)が報告されたことから、2023年1月上旬には新潟から北陸にいたる地域で樹氷(アイスモンスター)ができやすい気象条件が整ったと推定されます。

#### 【1. これまでの経緯】

過冷却水滴と雪がオオシラビソ(アオモリトドマツ)上で一体化して氷の塊となったものを樹氷(アイスモンスター)といいます。次に、樹氷のでき方を、蔵王を例にしてご説明いたします。シベリアから吹いてくる冬の季節風が朝日連峰(蔵王の西~西北西~北西に位置している)にぶつかって雪雲となり、その雪雲の中で過冷却水滴が作られます。過冷却水滴は強風で吹雪の蔵王まで運ばれ、蔵王のオオシラビソにぶつかって瞬時に凍り、氷の塊であるエビノシッポとなります。吹雪の中の雪がエビノシッポ衝突し、エビノシッポと一体化することを繰り返すことで氷の大きな塊である樹氷(アイスモンスター)ができあがります。

2023年2月に「樹氷(アイスモンスター)は北海道から石川県まで分布していたことが分かりました」を発表いたしました。1960年代以降、温暖化に伴って、津軽海峡より北側の北海道や、巻機山・安達太良より南西側では毎冬に樹氷(アイスモンスター)ができることはなくなりました(図1)。しかし、北海道や長野県では気温の低下によって、両白山地では気温の低下と少雪によって樹氷(アイスモンスター)ができる可能性が考えられました。また、1936年、田邉(濱田)和雄によって巻機山で樹氷(アイスモンスター)が確認されていたこともご紹介いたしました。田邉(濱田)和雄(高山植物学者・登山家)は1931年に高山植物の生態を研究する過程で樹氷(アイスモンスター)が過冷却水滴と雪の「複合体」であることを見つけています(冬の杉ヶ峰 日本地理大系 改造社 1930年)。

● 田邉(濱田)和雄:霧氷の話(1936年) 「山(3巻3号)」 注:「樹氷」を「霧氷」と記述している 偖て今までは主に蔵王山に就て述べてきましたが、他の山では吾妻連山殊に家形山と西大巓(にしだいてん)との 間も霧氷の怪物が出来ている所です。然し批處のは蔵王山のと比較すると幾分見劣りがします。巻機山直下の地図に 針葉樹林の記号の入れてある少区域では、範囲は極く狭いが却て形の良い怪物を見ました。

注:田邉(濱田)和雄は「樹氷」を「霧氷」と記述している。

#### (お問合せ先)

山形大学蔵王樹氷火山総合研究会 副会長 (旧山形大学蔵王樹氷火山総合研究所 副所長) 山形大学名誉教授 柳澤文孝 (環境科学) メイル icemonster.white(at)gmail.com

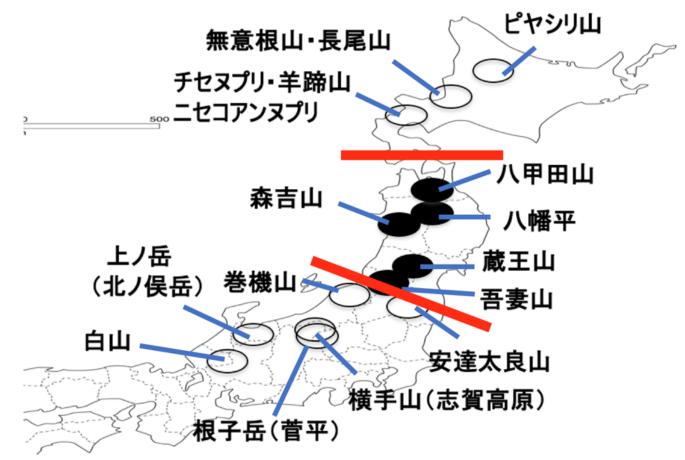


図1 樹氷(アイスモンスター)の分布図 黒丸は毎冬に樹氷(アイスモンスター)のが見られる地域、白丸はかつては毎冬に樹氷(アイスモンスター)が見られたが1960年代以降は毎冬に見られることはなくなってしまった地域

2023 年 9 月、新潟県在住の漆崎隆之氏より 2012 年から 2023 年までに巻機山山頂付近で撮影された写真が送られてきました。それらの写真を拝見したところ、2023 年 1 月 7 日については樹氷(アイスモンスター)、2022 年 1 月 16 日については樹氷(アイスモンスター)に極めて近いものができていると判定されました。一方、2012 年・2014 年・2015 年・2016 年・2019 年・2021 年につきましては樹氷(アイスモンスター)ができ始める状態になっていると判断されました。

#### 【2. 巻機山の樹氷(アイスモンスター)について】

#### 2. 1. 地形とオオシラビソ (アオモリトドマツ) の分布

巻機山の地形とオオシラビソ(アオモリトドマツ)の分布について、環境省自然環境局 生物多様性センター 自然環境調査 Web-GIS 所載の地形図(国土地理院)、および、環境省自然環境局 生物多様性センター 自然環境調査 Web-GIS 所載の植生図 植生調査 (1/2.5) の第6-7回 (1999~2012/2013) を用いてご説明いたします。

巻機山(北)から南に向かう南北の峰と、その南北の峰から西側に伸びる2本の峰(図2)に沿ってオオシラビソ (深緑)が分布しています(図3)。また、写真1にありますように、オオシラビソ (アオモリトドマツ)は、巻機山山頂のある北 (写真の上部左側)から南 (写真の上部右側)に伸びている峰沿い、および、その南北の峰から西側に (写真の上部から下部へ)に伸びている2本の尾根にそって群生しています。



図2 環境省自然環境局 生物多様性センター 自然環境調査 Web-GIS 所載の地形図(国土地理院) http://gis.biodic.go.jp/webgis/index.html

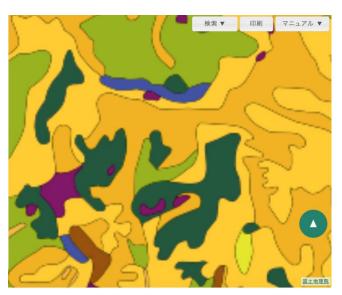


図3 環境省自然環境局 生物多様性センター 自然環境調査 Web-GIS 所載の植生図 植生調査 (1/2.5) の第6-7 回 (1999~2012/2013) http://gis.biodic.go.jp/webgis/index.html



写真1 巻機山山頂(写真の左側)から南(写真の右側)に伸びている峰沿い、および、その峰から西側に(写真の下側)に伸びている2本の尾根にそってオオシラビソ(アオモリトドマツ)が群生している。(2023年8月6日 漆崎隆之氏撮影)

#### 2. 2. 巻機山の樹氷 (アイスモンスター) について

2023 年 1 月 7 日に漆崎隆之氏が撮影された写真(写真 2)によりますと、樹氷(アイスモンスター)は、巻機山山頂(写真 2 の下側)から南(写真 2 の上側)に南北に伸びている峰に沿って分布しています。樹氷(アイスモンスタ

ー)に着いているエビノシッポは西側(写真2の右側)に伸びていることから、過冷却水滴は西側から供給されたことが分かります。一方、巻機山山頂から南北に伸びている峰から西側に伸びている尾根(写真3の上部から下部に向かう)に沿っては、樹氷(アイスモンスター)ができ始めた状態にあります。また、巻機山山頂から南北に伸びている峰の西側の峰(避難小屋がある)ではごく小ぶりの樹氷(アイスモンスター)が認められました(写真4)。

巻機山山頂から北西側には積雪深が深い所があり、一方、巻機山山頂から南北に伸びている峰および南北の峰から西側に伸びている2本の峰付近では積雪深が浅くなっていました。このことから、巻機山山頂から南北に伸びている峰および南北の峰から西側に伸びている2本の峰付近のオオシラビソ(アオモリトドマツ)は冬の季節風による大雪の場合にも、雪に埋もれることはないことが分かります。

また、樹氷(アイスモンスター)に着いているエビノシッポは西側に伸びていることから、巻機山で樹氷(アイスモンスター)ができるためには西~西北西~北西から過冷却水滴が供給される必要があります。巻機山の西側 60-80km に妙高高原(妙高山~飯綱山~黒姫山)があることから、そちらで作られた過冷却水滴が巻機山まで供給された可能性が高いと考えられます。冬季、巻機山は常に吹雪の中にあります。供給された過冷却水滴と巻機山を覆っている吹雪の中の雪が巻機山の南北の峰のオオシラビソ(アオモリトドマツ)上で合体して樹氷(アイスモンスター)となったと推定されます。以上のことから、巻機山で樹氷(アイスモンスター)ができるためには、厳冬であることはもちるんですが、巻機山付近の積雪が少ないこと、西風が卓越していることが必要となります。

なお、最近では温暖化で衰退傾向ですが、上信越高原国立公園にあります志賀高原の横手山や菅平の根子岳(猫岳)の樹氷(アイスモンスター)は良く知られています。巻機山は上信越高原国立公園の北西に隣接しており、一連のものと考えることができます。巻機山・志賀高原・菅平に妙高高原(妙高山〜飯綱山〜黒姫山)から過冷却水滴が供給されていると考えると、この地域全体の樹氷(アイスモンスター)の形成のメカニズムが説明できます。

巻機山で樹氷(アイスモンスター)が確認されたのは87年ぶりのことになります。このことは、巻機山で樹氷(アイスモンスター)ができる気象条件は毎冬成立するものではないことを示しています。2023年1月上旬についてはこれらの条件が揃ったので樹氷(アイスモンスター)ができましたが、2022年1月上旬については厳冬ではありましたが積雪が多く西風は多くなかったことから樹氷(アイスモンスター)に近い状態にまでにしか成長できなかったと考えられます。いずれにしても、巻機山にできている樹氷(アイスモンスター)は蔵王や八甲田などと比較するとかなり細身です。これは、巻機山における樹氷(アイスモンスター)の成長期間が短いためと推定されます。

一方、2023年1月上旬には白山においても樹氷(アイスモンスター)が報告されています。2023年1月上旬は新潟から北陸かけての地域で樹氷(アイスモンスター)ができる気象条件が整ったのではないかと推定されます。

なお、白山における樹氷(アイスモンスター)がはじめて確認されたのは2018年のことであり、2023年の確認は2度目のことです。一方、2023年に巻機山で樹氷(アイスモンスター)は確認されたのは87年ぶりのことです。温暖化に伴って全国的に樹氷(アイスモンスター)の衰退がいわれています。その一方で、温暖化によって、これまではに樹氷(アイスモンスター)が報告されたことのない地域で、新たにできる可能性がでてきていると考えることができます

本件は、2023年10月27日(金曜日)やまぎんホールで開催される(公社)大気環境学会 北海道・東北支部会の樹 氷特集(13時半から15時まで)で発表する予定です。



写真2 巻機山山頂(写真の下側)から南(写真の上側)に南北に伸びている峰に沿って樹氷(アイスモンスター)となっている。(2023年1月7日 漆崎隆之氏撮影)



写真3 巻機山山頂から南北に伸びている峰(写真の上部)から西側に伸びている尾根(写真の上部から下部に向かう)に沿っては樹氷(アイスモンスター)ができ始めた状態にあります。(2023年1月7日 漆崎隆之氏撮影)



写真4 巻機山山頂から南北に伸びている峰の西側にある峰(避難小屋がある)では小ぶりの樹氷(アイスモンスター)が認められました。 (2023年1月7日 漆崎隆之氏撮影)



写真 5 巻機山山頂 (写真の下側) から南 (写真の上側) に南北に伸びている峰に沿って樹氷 (アイスモンスター) に近い状態になっています。2023 年と比較すると積雪が多く、樹氷 (アイスモンスター) に近い物については、背が低く (2023 年の半分程度) 、細身 (2023 年の 2/3 程度) です。 (2022 年 1 月 16 日 漆崎隆之氏撮影)

# プレス通知資料 (概要)



令和5年(2023年)10月5日 山 形 大 学

\*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 学長特別講演会~つなぐちから。山形大学~を開催します

山形大学では、3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、学長主催による特別講演会を開催します。さらに、今年度は、山形大学将来ビジョンのキーワードである「つなぐちから。山形大学」をテーマとしております。

タイトル:「VUCA の時代における企業の在り方とリーダーシップ」

日 時:令和5年10月26日(木)16:30~18:00

会 場:小白川キャンパス基盤教育棟2号館212教室 及び オンライン (Zoom ウェビナー)

2. 山形大学学生チャレンジプロジェクト 福島の今、私たちにできることを考える。

山形大学学生チャレンジプログラムの一環として、山形大学学生(団体名:山形大学大学生協学生委員

OH,ONE!? 代表者:理学部3年岡部素輝さん)が企画・立案した講演会を開催します。

タイトル:「福島の今、私たちにできることを考える」

日 時:2023年10月24日(火) 17:00~19:00(予定)

会 場:山形大学小白川キャンパス基盤教育3号館312教室

3. 小白川キャンパスで今秋実施の社会人向け講座〜健康経営、ドローン、 3D プリンタなどさまざまなジャンルの講座を開講〜



リカレント教育やリスキリングに関するニーズ調査、社会人向け講座の企画・運営などを行うエクステンションサービス推進本部が、社会人向け講座を今秋開講します。

◆「エクステンションぷらす 経済学から働く人の健康を考える ~労働と健康の関係~」(オンライン)

「日時」 第1回と第5回はリアルタイムオンライン、第2~4回はオンデマンドで配信します

<第1回> 令和5(2023) 年10月26日(木)

<第5回> 令和5(2023) 年11月23日(木・祝)

◆「初心者向けドローン体験講習会」(対面・小白川キャンパス理学部1号館、他)

「日時」 令和5 (2023) 年11月3日 (金・祝) ~4日 (土)

◆「3Dプリンタワークショップ」(対面・小白川キャンパス理学部1号館)

[日時] 令和5(2023)年10月22日(日)

4. やまがた進学大交流フェスタに参加します。

県内高等教育機関が一堂に会し、各ブースでは県内から進学した学生・県内企業に就職した卒業生からお話を聞くことのできるイベントに、山形大学も参加します。

日 時:令和5年10月14日(土)13:00~15:00

会場: 霞城セントラル1F アトリウム

#### 5. 山形大学フットサル大会を10月29日(日)に開催します

#### ~学部の垣根を越えた交流を目指して~

山形大学校友会支援事業として、山形大学フットサル大会を開催します。2012年以降、今回で10回目(2012年~2019年ビーチサッカー大会、2020年~2021年コロナ禍で中止、2022年フットサル大会として復活)となります。フットサルを通じて、学部・学科・学年の垣根を越えて学生同士がつながる機会になることを目指します。

日 時:令和5年10月29日(日)10:00開会

場 所:農学部体育館(鶴岡市若葉町1-23)

#### 6. 「インクルーシブ防災」公開研修会開催~災害時要配慮者(児)のニーズを知る研修~

災害時要配慮者(児)のニーズを知ることを目的とした座談会等の研修会を行います。

- ① 10月30日(月)14:50-17:50 避難所運営ゲーム HUG(災害時要配慮者バージョン)体験
- ② 11月13日(月)16:20-17:50 災害時要配慮者のニーズを聴く①視覚障がい者 (相羽大輔氏:愛知教育大学教育科学系特別支援教育講座・准教授)
- ③ 12月4日(月) 16:20~17:50 災害時要配慮者のニーズを聴く②聴覚障がい者 (聴覚障がい者協会等)

各回、参加定員は24名とし、参加費は無料。

#### 7. 共生社会の実現を目指した新たな学びの場の創造~山大生と聾学校生の交流"和 Be"を通して~

特別支援教育を学ぶ山大生が企画・運営し、聾学校の子ども達と一緒に作品制作の交流学習を行います。 聾学校生の興味・関心や難易度等を工夫した様々な作品を山大生が考え、材料を準備し、ワークショップ形式で作成します。作品の一部は、八峰祭にて山大生が販売するとともに、聾学校で実施した活動について地域の方々に紹介します。作品の製作(ワークショップ)は全4回、聾学校の教室をお借りして実施します。

ワークショップ:10 月5日,13日,17日,19日 @山形県立山形聾学校

販売:10月21日,22日(八峰祭) @山形大学小白川キャンパス

# 8. 山大生が地元企業の若手社員を取材・情報発信~Instagram「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」第4弾~

若年層における山形県村山地域での就職・定住への関心を高めるため、学生が村山地域の企業で活躍する若手社員を取材し、山形県村山地域で働くことの良さ、暮らすことの良さ等を、学生の視点から紹介した記事を 2020 年度からインスタグラムで発信しています。

2023 年度は人文社会科学部・地域教育文化学部・工学部・医学部の学生 22 名が分担して企業 20 社に訪問します。取材記事は 10 月 13 日から順次、インスタグラム(アカウント @yamagata.work\_life)に掲載を開始しますので、ぜひご覧ください。

# 学長特別講演会

# つなぐちから。山形大学

共育・共創・共生による持続可能な幸福社会の実現

山形大学では、3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、国内外の多方面で活躍されている方を講師に迎え、学長主催による特別講演会を開催しています。\_\_\_\_\_

今年度は山形大学を卒業・修了し、企業のトップでご活躍されている方を講師に招き、ご講演いただくことを コンセプトに計画してまいりました。

今回は、株式会社小森コーポレーション代表取締役社長 持田 訓氏を講師として迎え、人口減少、デジタル化、グローバル化が一層進む中で、どのような未来社会の将来像を想定して、企業戦略を考え、経営を行っているのか、また、学生が在学中に各自の専門分野以外に身につけるべきこと、経験を積むべきことについて、様々な角度からお話をいただきます。



山形大学 学長 **玉 手 英 利** TAMATE Hidetoshi

# VUCAの時代における 企業の在り方とリーダーシップ



株式会社小森コーポレーション 代表取締役社長

# 持田

MOCHIDA

訓氏

Satoshi

#### PROFILE-

1975年3月 山形大学理学部卒業

1975 年 4 月 小森印刷機械(現小森コーポレーション)入社

1998年6月 常務取締役社長室長兼 本社営業本部長

2006年11月 代表取締役専務 兼 最高執行責任者 (COO)

2014年6月 代表取締役社長兼 最高執行責任者 (COO)

2019 年 6 月 代表取締役社長 兼 最高経営責任者(CEO)

みなさんは「小森コーポレーション」という社名を聞いたことがありますか?

普段 KOMORI の名前を耳にすることはほとんどないと思われますが、当社は世界有数の印刷機械システムメーカーです。出版物や食品パッケージをはじめ「身近なもの」を印刷する機械を製造し、国内トップシェアを誇っております。

数ある製品の中でも、当社の技術力の高さを象徴しているのが「紙幣印刷機械」で、国内の紙幣は全てが KOMORI の紙幣印刷機で印刷されております。また、近年ではエレクトロニクス分野にも注力しており、国内外で幅広く事業展開しているグローバル企業です。

KOMORI は今年創業 100 周年を迎えますが、社会課題に対する役割を明確にする事で、社会貢献を目指したパーパスを策定しました。キャリアの中で私が経験してきた事を中心に、変化の激しい現代において企業が果たすべき役割と、それを実行するにあたり、企業トップとして取組んでいる事をお話させていただきます。

16:30~18:00 16:30~18:00 会場

山形大学小白川キャンパス 基盤教育棟 2 号館 212教室

開催形式 対面及びオンライン (Zoom ウェビナー)

申込方法:右記 URL または QR コードからお申し込みください 申込者には、本講演会参加に必要な情報を開催日前日までに メールでお知らせします。 https://forms.office.com/r/9y3bLWUqEh

本学にお越しいただく際には、公共交通機関や有料駐車場などのご利用を お願いいたします。

また 近隣の施設や店舗には駐車いただかたいようお願いいたします







# PRESS RELEASE



令和5年(2023年)10月5日

# 山形大学学生チャレンジプロジェクト 福島の今、私たちにできることを考える。

#### 【本件のポイント】

- ●山形大学学生チャレンジプロジェクトの一環として、山形大学学生が企画・立案。
- ●経済産業省資源エネルギー庁廃炉・汚染水対策官原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策現地事務所参事官 木野正登氏を招いた講演会を通 し福島県への正しい理解醸成を図る。



#### 【概要】

山形大学学生チャレンジプロジェクトの一環として、山形大学学生(団体名:山形大学大学生協学生委員OH,ONE!? 代表者:理学部3年岡部素輝さん)が企画・立案した講演会を開催します。

講演会には経済産業省資源エネルギー庁 廃炉・汚染水対策官 原子力災害対策本部廃炉・汚染水対策 現地事務所参事官 木野正登氏をお招きし、風評払拭への取り組みを、同じ東北にある山形大学から東 北全土、日本全土に広める第一歩としたいと考えています。

#### 【講演会について】

対話フォーラム「福島の今、私たちにできることを考える」

日 時:2023年10月24日(火) 17:00~19:00(予定)

場所:山形大学小白川キャンパス基盤教育3号館312教室

講 演 者:経済産業省資源エネルギー庁 廃炉・汚染水対策官

原子力災害対策本部廃炉・汚染水対策現地事務所参事官 木野正登 氏

対 象 者:一般の方, 山形大学の学生・教職員

申込方法:以下のメールアドレスに講演会参加希望と記載してメールを送信してください。

後日、申込みフォームをお知らせいたします。

【申込みメールアドレス】okabemotoki.0212@gmail.com

#### 【背景】

2011年3月11日の東日本大震災とそれによる福島第一原発事故から12年が経過し、避難指示区域も徐々に解除され、廃炉へと着実に進んでいる。しかし、処理水の海洋放出、燃料デブリの取り出し、除染土の最終処分等問題は山積しており、終わりは見えない状態である。問題はそれだけでなく「風評被

害 という大きな問題が根強く存在する。

震災当初は大きく取り上げられた福島県へのニュースはなりを潜め、処理水等大きな話題には触れられるがそれ以外についてメディアがフォーカスすることはほとんどなくなった。またインターネット上には誤謬のある記事が山積し、正しい情報を仕入れることをより難しくしている。この情報の難解さと触れる機会の少なさが風評を助長し、廃炉を足踏みさせている。

山形大学大学生協学生委員OH,ONE!?の代表である理学部3年岡部素輝さんは、高校時代今回講演いただく木野正登氏の講演を聞き自分が福島第一原発について全くしらないことを痛感した。大学に入り、空いた時間を見つけて福島第一原発やその周辺施設に何度も見学にいった。進んでいく廃炉作業をみていくなかで感じたことはその事実を「ほとんどの人が知らない」「知る機会がない」という点だった。大学4年間を使い福島のことを多くの人に伝えたいと考えるようになった。そこで自分が通う山形大学で、「山形大学学生チャレンジプロジェクト」の一環として、講演会を行い福島県のことを知ってもらおうと考え、昨年木野正登氏へ講演の依頼をしたのが今回の企画のスタートだった。2回目となる今回は山形大学生のみならず、地域の人や高校生へも広く参加してもらえるようにしたい。風評払拭への取り組みを同じ東北にある山形大学から東北全土、日本全土に広める第一歩としたい。

・木野正登氏/経済産業省資源エネルギー庁 廃炉・汚染水対策官

原子力災害対策本部廃炉・汚染水対策現地事務所参事官 昭和 43 年(1968)東京都生まれ。東京大学工学部卒業後、通商産業省 (現・経済産業省)入省。震災直後2011年3月20オフサイトセンターに 派遣され、広報班長としてブレス対応を行う。以後福島県に実際に住み、 廃炉作業の第一線で活動している。

#### 【今後の展望】

風評という大きな問題は福島県への産業に打撃を与えている。それは今なお福島県産品の輸入規制を設けている国があることからもわかるだろう。この風評は処理水の放水によって加速することが危惧されている。私たちの活動が風評払拭の一助になればうれしい。また今回の企画を通して、社会問題を自分で調べる考える、そういった姿勢を広めていきたい。

#### 【山形大学学生チャレンジプロジェクトとは】

学生が主体的に活動し、大学や地域との関わりを深める魅力的な企画を募集し、採択された企画に、 予算の範囲内で大学が支援を行うプロジェクトです。

お問い合わせ

山形大学エンロールメント・マネジメント部学生支援課 齋藤 TEL:023-628-4840 MAIL:yu-gakumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# 対話フォーラム福島第一原発の今

◆ 日時 2023年

10月24日(火) 17:00 $\sim$ 19:00

- ◆場所 山形大学 小白川キャンパス 基盤教育棟3号館 312教室 Zoomでも開催
- ◆ 申込 フォームより参加申し込み

講演者:木野 正登氏

経済産業省資源エネルギー庁 廃炉汚染水対策官 原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策現地事務所参事官

### PRESS RELEASE



令和5年(2023年)10月5日

# 小白川キャンパスで今秋実施の社会人向け講座 ~健康経営、ドローン、3Dプリンタなどさまざまなジャンルの講座を開講~

#### 【本件のポイント】

- リカレント教育やリスキリングに関するニーズ調査、社会人向 け講座の企画・運営などを行うエクステンションサービス推進 本部が実施する講座です。
- 今秋は、9月7日の学長記者会見で発表した「多文化共生スキルアップ講座」、10月5日の学長記者会見で発表した「地域防災力向上セミナー」のほかにも、3件の講座を予定しています。
- 講座の受講形態は、自宅や会社から受講できるオンライン型 や、実際に体験できる体験型ワークショップなど様々です。





#### 【概要】

今年で3年目の開講となる、社会人向けのオリジナル講座「エクステンションぷらす」は、「大学レベルの学問」を楽しく学び、社会で活躍するための知識や考え方を身につけることを目的としています。今秋は岡庭英重講師が担当し、近年話題となっている「健康経営」について学ぶことができます。また、今年6月に開講し好評いただいた「初心者向けドローン体験講習会」を11月に行います。内容は、ドローンの仕組みや制度、シミュレーターや実機での操縦体験など、前回と同じカリキュラムです。そのほか、データサイエンス教育研究推進センターとの共催で、初心者向けに「3Dプリンタワークショップ」を開催します。小白川キャンパスの大学祭「八峰祭」と同日の開催です。

エクステンションサービス推進本部では、今後も、社会人の学び直しや、新たなスキル 取得の一助となれるよう、講座やイベントの企画を進める予定です。



#### 【開催要項】

- ◆「エクステンションぷらす 経済学から働く人の健康を考える 〜労働と健康の関係〜」(オンライン) [日時]第1回と第5回はリアルタイムオンライン、第2〜4回はオンデマンドで配信します 〈第1回〉 令和5(2023)年10月26日(木) 〈第5回〉 令和5(2023)年11月23日(木・祝)
- ◆「初心者向けドローン体験講習会」(対面・小白川キャンパス理学部1号館、他) 「日時」 令和5(2023)年11月3日(金・祝)~4日(土)
- ◆「3Dプリンタワークショップ」(対面・小白川キャンパス理学部1号館) [日時] 令和5(2023)年10月22日(日)

※各講座の詳細は山形大学エクステンションサービス推進本部のホームページでご確認ください。

お問い合わせ

エクステンションサービス推進本部 (松田)

TEL: 023-628-4779 メール: yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp





# 経済学から 働く人の健康を考える

#### 労働と健康の関係

#### 【開講日時】

〈第1回〉2023年10月26日(木) 16:00~17:00 〈第5回〉2023年11月23日(木) 16:00~17:00

 $%第1\cdot5$ 回は「Zoom」を使用(見逃し配信あり)。第2~4回はオンデマンド型配信

【受講料金】5,000円(全5回分・計5時間)

# 4 別の高い教育を みんなに

3 すべての人!

学ぶことができます。

)で構成・

時間

をかけてしっかりと、

そ

。 全 5 回

冬のおうち時間

みなさまの受講を心よりお待ちしております。

自宅で気軽に大学レベルの学びを受けてみ

受講後は修了証を発行しま

オリジナル講座「エクステンションぷらす」

を開講します。

知識や考え方を身につけることを目的とした社会人向け

大学レベルの学問

を楽しく学

び

社会で活躍するため

日々の仕事や生活に役立つ講座をオンラインで配信。





#### 経済学の視点から、働くことについて考えてみませんか?

COVID-19感染拡大は私たちの暮らしや働き方に大きな変化をもたらしました。この講座では、経済学の視点から「働くこと」と「健康」の関係を捉え直し、最近の研究成果をもとに個人・企業・社会の各レベルでこれからの働き方を考察していきます。経済学に初めて触れる方にも理解しやすいよう解説します。



- ●健康について経済学の視点で捉え直す
- 2健康経営の意義や取り組みについて学べる
- **③働くことと健康の関係について理解できる**

#### 【各講座内容】

〈第1回 〉経済学から見た健康

〈第2回〉 メンタルヘルスと労働

〈第3回 〉健康経営の視点

〈第4回 〉 健康のための行動変容

〈第5回〉ニューノーマルにおける労働と健康



#### 講師/岡庭英重 講師

(人文社会科学部 主担当/専門 健康経済学、労働経済学)

労働時間や雇用形態、ワークライフバランス、メンタルヘルス、人的資本、技術革新等が研究課題。宮城県職員、東北大学経済学部助教、国立社会保障・人口問題研究所研究員等を経て現職。



#### ■全国どこからでも受講可能な授業形式(完全オンライン)

約1カ月間に計5時間の講義を全てオンラインで行います。イントロダクションを兼ねる第1回と、最終講義となる第5回はリアルタイムオンラインで行い(見逃し配信あり)、第2~4回はオンデマンド型の配信となります。移動は不要で自宅や職場からアクセスできますので、全国どこからでも受講することができます(オンデマンド型授業については、視聴する時間帯も自由です)。

申込方法

下記URLもしくは右記QRコードから、申込受付ページにアクセスをしてください。受講料の支払方法、受講方法などをご確認の後、専用フォームに必要事項をご入力の上、送信してください。【申込締切:10月23日(月)AM8:30】



https://www.y-ex.jp/extension/post-67.html

山形大学

エクステンションサービス推進本部

TEL.023-628-4779

YEXの 社会人向け講座 開講中!! 詳しくは、山形大学エクステンションサービス推進本部の ホームページでご確認ください。

■3D PRINTER WORKSHOP 開催日/10月22日(日) 定員/10名 ■初心者向けドローン体験講習会 開催日/11月3日(金祝)~4日(土) 定員/12名

お問い合わせ



【こんな方におすすめ】

- ◎仕事や趣味にドローンを活用したい ◎ドローン購入を検討中で体験してみたい
- -ンに関する法律や制度を知りたい



空の産業革命とも呼ばれる無人航空機UAV、いわゆるド ローンに関する法律が日本でも整備され、建設・測量・農業・ 防災・運輸・映像など各種産業への応用が進んでいます。ド ローンに関する知識・技能を備えた人材育成のため、ドロー ンの法律・操縦・活用に関する初歩的な講習、および希望者 には屋外での実習を行います。

2023年

11月3日(金祝)・11月4日(土) 【日時】

※2日間のカリキュラムです。

- 座学(3時間):法律や制度について、等
- フライトシミュレーターによる練習(3時間) ※平日を利用した自主練習も可能です。
- 屋内操縦体験(1人1時間30分)
  - 屋外実習(3時間) ※11月下旬実施予定・希望者のみ

お申込み前にHPの募集要項を必ずご確認ください

# 山形大学小白川キャンパス

【会場】

【内容】

※山形大学にお越しいただく際には、公共交通機関や近隣の有料駐車場な どのご利用をお願いいたします。近隣の施設や店舗の駐車場は利用しない ようお願いいたします。※屋外実習は山形市近郊の施設を予定。

【受講料】

問合せ|

15,000円 | ドローンレンタル費 シミュレーター利用料、含む

(屋外実習参加の方は、別途5,000円いただきます)

#### ●申込方法

2023年10月26日(木)AM8:30までに、エクステンション サービス推進本部のホームページからお申込みください (定員になり次第終了) ▶ https://www.y-ex.jp/











災害環境科学研究センター



エクステンションサービス推進本部











ワークショップを開催します。

八峰祭(学園祭) 同日開催!!

10月22日(日)8:45~12:30

会場:山形大学小白川キャンパス理学部1号館

【当日のスケジュール(予定)】

8:45~9:00 受付

9:00~11:00 講義・基礎実習

- ・3Dプリンタの基礎知識
- ・モデリングソフト&プリンタ操作

11:00~12:30 応用実習

・3Dプリンタで自由に造形!

【定員】 10人 ※社会人対象 【参加費】1,000円

※775円+振込手数料225円

【問い合わせ】 山形大学エクステンションサービス推進本部 023-628-4779

yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

◆参加申込はこちら

https://www.y-ex.jp/experience/post-66.html



# 先輩たちに進路のことを聞ける!話せる!大チャンス!

# イン まかた 県内の大学等で学ぶ 学生や卒業生から 直接話が聞ける! 本子人 交流 フェスタ



2023.**10.14 ⊕** 13:00 - 15:00

場所 霞城セントラル 1F アトリウム

対象 山形県内の高校生・保護者の方

山形の大学等ではどんなことが学べて、卒業後どんな活躍ができるの? 各ブースにいる学生・卒業生に直接聞いてみよう! ※各ブースの内容については、学校ごとに異なります

#### 参加校

電動モビリティシステム

専門職大学/東北芸術工科大学/

東北公益文科大学/東北文教大学/東北文教大学短期大学部/放送大学山形学習センター/山形県立産業技術短期大学校上内校/山形県立農林大学校/山形県立保健医療大学/山形県立米沢栄養大学/山形工科短期大学校/山形大学【資料のみ】

羽陽学園短期大学/ 鶴岡工業高等専門学校/ 山形県立米沢女子短期大学

# 参加無料 お申込みはこちら!



資料も充実!

https://www.yamagata-u.ac.jp/yamapura/news/festa/

当日の詳細はこちらからご確認ください

主催/やまがた社会共創プラットフォーム 共催/大学コンソーシアムやまがた

# PRESS RELEASE



令和5年(2023年)10月5日

# 山形大学フットサル大会を10月29日 (日) に開催します ~学部の垣根を越えた交流を目指して~

#### 【本件のポイント】

- ●山形大学校友会支援事業とし、2012年度から実施しており、今回で10回 目
- 本学の人文社会科学部, 地域教育文化学部, 理学部, 医学部, 工学部, 農学部の6学部に在籍する学生は誰でも参加可能
- 学部・学科・学年の垣根を越えた学生同士の交流を目指すとともに、参加賞や上位入賞者への賞品として、農学部附属農場の農産物やスマート
  - ・テロワール事業の加工品を取り入れ、農学部の取り組み及び「食の都庄内」をPRする予定



#### 【概要】

農学部では、山形大学校友会支援事業として、山形大学フットサル大会を10月29日(日)に鶴岡キャンパス体育館にて開催します。本支援事業としては、2012年以降、今回で10回目(2012年~2019年ビーチサッカー大会、2020年~2021年コロナ禍で中止、2022年フットサル大会として復活)となります。フットサルを通じて、学部・学科・学年の垣根を越えて学生同士がつながる機会になることを目指します。

#### 【開催日程】

日 時: 令和5年10月29日(日)

10:00 開会

場所:農学部体育館

(鶴岡市若葉町 1-23)

#### 【当日のスケジュール(予定)】

10:00開会式10:20~15:00試 合12:00昼 食

(芋煮、おにぎり)

15:00 閉会式

#### 期 日 : 金和5年10月29日(日) 場 所 : 農学部体育館 参加料 : 無料(近入る如選あり) 参加修切: 金和5年10月10日(火)まで 当日のスケジュール(予定) 6:40 米Rキャンパス出発(パス) 7:40 小白川キャンパス出発(パス) 10:00 産業解析・育配別を「個会式 10:20~15:00 アットサル(試合) 12:00 産気(無料・デ金・は応ぎり) 15:00 閉会式(終了後、山島) 17:30 小日川キャンパス別着予定 18:30 米Rキャンパス別着予定 (ただし、乗車定員に限りがあります。パス以外の交通方法は交通費支給しません) ② 光着6子 上級定です。 最低8名~10名でチームを編成してください(試合中は何度でも交替可能)。 多加希望者は、 各種6名~10名でチームを編成してください(試合中は何度でも交替可能)。 ③ 詳細については、別紙「実施受項」「参加申込書」を確認してください。

#### 【農学部ホームページ】

https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/event/2023/news1599.html

お問い合わせ

鶴岡キャンパス事務部学務課学務担当(大谷)

TEL 0235-28-2808 メール yu-nogaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# PRESS RELEASE



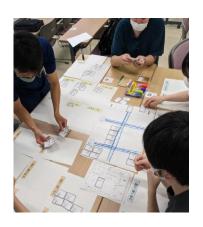
令和5年(2023年)10月5日

# 「インクルーシブ防災」公開研修会開催

~災害時要配慮者(児)のニーズを知る研修~

#### 【本件のポイント】

- 山形大学「つなぐちから。」社会共創活動推進プロジェクト活動助成を受け、災害時要配慮者(児)のニーズを知る座談会等の研修会を開催する。
- 研修会受講後に「災害時要配慮者(児)を対象とする自然災害発生時の避難とその後の避難所生活に必要な情報を掲載したリーフレット」(仮称)を作成する。



#### 【概要】

山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクトの活動助成を受けて、以下のように災害時要配慮者(児)のニーズを知ることを目的とした座談会等の研修会を行います。

①10月30日(月)14:50-17:50 避難所運営ゲーム HUG(災害時要配慮者バージョン)体験

②11月13日(月)16:20-17:50 災害時要配慮者のニーズを聴く①視覚障がい者(相羽大輔氏:愛知教育大学教育科学系特別支援教育講座・准教授)

③12月4日(月) 16:20~17:50 災害時要配慮者のニーズを聴く②聴覚障がい者(聴覚障がい者協会等) 各回、参加定員は24名とし、参加費は無料です。

障がい者(児)とそのご家族・支援者等から、日常の生活の様子や被災時に困難となる事象について座談会を通して聞き取り、自然災害発災時の避難とその後の避難所生活に必要な情報を掲載したリーフレットを作成し、広く発信することを目指しています。①では、災害発生時の生活の現状と課題を理解します。②と③は、障がい者(児)の生活の様子や災害時における困難を理解することに重点を置いた座談会です。座談会等を通して学んだことを踏まえて作成したリーフレットをもとに、障がい者(児)の困難に配慮した防災教育プログラムを構築し、小・中学校や特別支援学校等での実践へとつなげていきます。また、障がい者(児)の困難に配慮した防災教育プログラムを開発・普及することにより、誰もが安心して暮らせる学校、社会を構築することができます。さらに、本プロジェクトにより、教員を志望する地域教育文化学部学生が障がい者(児)を深く理解し、児童・生徒の教育に資することができる教師となることが期待されます。

#### 【背景】

東日本大震災後、BOSAI は世界的に注目され、防災教育の必要性も認識されています。教員養成では、2019 年度から学校安全について必ず修得することとされました。児童生徒等に対する安全教育の充実を図るためには、教職員自身が自然災害等の安全に関する知見等、指導すべき内容を明確に把握しておくことが重要です。本学地域教育文化学部では、「教員になるための学校防災の基礎」を 2015 年度入学以降の児童教育コース学生対象に必修科目として開講しています(2017 年度入学生からは「教員になるための学校防災」に科目名改称)。これにより、教員としての防災の基礎は修得できるものの、特別支援を必要とする児童・生徒に対する防災教育までの広がりはなく、本学附属の特別支援学校における防災教育も十分とは言えません。

#### 【今後の展望】

2024 年度に地域教育文化学部 3 年次必修科目「フィールドプロジェクト」として開講することを目指しており、学生主体のプロジェクトとして災害時要配慮者(児)の防災について追求していきます。また、本研究・プロジェクトは、山形県教育委員会(特別支援教育課)の後援を受けて進めており、本座談会参加の当事者や支援者のニーズを踏まえて作成する「災害時要配慮者(児)を対象とする自然災害発生時の避難とその後の避難所生活に必要な情報を掲載したリーフレット」(仮称)をもとに、防災教育プログラムを構築し、小・中学校や特別支援学校等での実践へ発展させます。

お問い合わせ

学術研究院 石垣和恵 (地域教育文化学部児童教育コース) TEL 023-628-4356 メール ishigakika@e.yamagata-u.ac.jp

# 「インクルーシブ防災」公開研修会 ~災害時要配慮者(児)のニーズを知る~

山形大学「つなくちから。」社会共創活動推進プロジェクトの活動助成を受けて、災害時要配 慮者(児)のニーズを知ることを目的とした座談会等の研修会を下記の日程で行います。全3回

連続の講座ですが、1回のみの参加も可能です。

障がい者(児)とそのご家族・支援者等から、日常の生活の様子や被災時に困難となる事象について座談会を通して聞き取り、自然災害発災時の避難とその後の避難所生活に必要な情報を掲載したリーフレットを作成し、広く発信することを目指しています。また、初回は避難所運営ゲームHUG(災害時要配慮者バージョン)を参加者全員で体験します。

第1回

10月30日月14:50~17:50

避難所運営ゲームHUG体験 (災害時要配慮者バージョン) ファシリテーター:石垣和恵 (山形大学地域教育文化学 部・准教授)



11月13日 16:20~17:50

災害時要配慮者のニーズを聴く ①視覚障がい者 ■話題提供:相羽大輔氏(愛知教育大学教育科学系特別支援教育講座・准教授)

□ コーディネーター:池田彩乃 (山形大学地域教育文化学 部・准教授)

第3回

災害時要配慮者のニーズを聴く ②聴覚障がい者 ■ 話題提供:山形県聴覚障害者 ■ 協会

■コーディネーター:有海順子 (山形大学障がい学生支援センター・准教授)

追加講座 オンライン開催 11月24日金 14:40~16:10

災害時要配慮者のニーズを聴く

③運動障がい者

■ 話題提供: 迫田 拳 氏 ((株)テクノスジャパン)

□コーディネーター:池田彩乃 (山形大学地域教育文化学 部・准教授)

参加費

無料

2回)

定員

24人 (先着)



山形大学地域教育文化学部1号館3階プロジェクト実習室 ★お車でお越しの方は、近隣の 有料駐車場をご利用ください。

お申込み

各回1週間前までに、下記のURLも しくはQRコードから、専用フォー ムにアクセスして、必要事項をご記 入の上、送信してください。 https://forms.gle/ECwCBdMvQb hmChT9A





お問い合わせ先

石垣和恵(山形大学地域教育文化学部) mail. ishigakika@e.yamagata-u.ac.jp



山形県教育委員会

# PRESS RELEASE



令和5年(2023年)10月5日

# 共生社会の実現を目指した新たな学びの場の創造 ~山大生と聾学校生の交流"和Be"を通して~

#### 【本件のポイント】

- ●障害のある子ども達との交流を通して、教師としても社会人としても必要な人間性や道徳性、コミュニケーション能力等を身に付けることが期待できる。
- ●大学等で学んできた知識を実践に生かすことを目指す。
- ●特別支援学校の子ども達の活動を広く知ってもらう機会になる。
- ●教員を目指す大学生と障害のある子ども達の交流は、共生社会の実現に向けた重要な取組みの1つであると考える。



#### 【概要】

特別支援教育を学ぶ山大生が企画・運営し、聾学校の子ども達と一緒に作品制作の交流学習を行う。 聾学校生の興味・関心や難易度等を工夫した様々な作品を山大生が考え、材料を準備し、ワークショップ形式で 作成する。

作品の一部は、八峰祭にて山大生が販売するとともに、聾学校で実施した活動について地域の方々に紹介する。 作品の製作(ワークショップ)は全4回、聾学校の教室をお借りして実施する。

地域教育文化学部特別支援教育専攻では、将来教員になるにあたって必要な資質・能力を身に付けるために、「社会に生かせる知識の育成」を重視しており、この活動を山大生の新たな学びの場として位置づけ、今後の大学カリキュラムの改善に生かす。

今後は、聾学校だけではなく、希望する特別支援学校を募るとともに、販売機会も地域の様々な場所に広げていきたいと考えている。

#### 【背景】

障害児者と日常的に接したことがなく、教育実習等の限られた経験だけで学校現場に出る学生が少なくない。 教員を目指す上で必要な人権意識、コミュニケーション能力、実践への具体的なイメージの育成は重要な課題である。

#### 【活動内容】

日時・場所

ワークショップ:10 月5日, 13日, 17日, 19日 @山形県立山形<u></u>学校 販 売:10月21日, 22日(八峰祭) @山形大学小白川キャンパス

#### 【今後の展望】

山形大学地域教育文化学部の特別支援教育専攻では、将来教員になるにあたって必要な資質・能力を身に付けるために、「社会に生かせる知識の育成」を重視している。山大生と聾学校生の交流は、誰もが分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するための重要な1歩になると考える。今後は、聾学校だけではなく、希望する特別支援学校を募るとともに、販売機会も地域の様々な場所に広げていきたい。

※この活動は、公益財団法人やまがた教育振興財団令和5年度「教員養成に関する調査研究事業」の助成を受けて 実施する。

お問い合わせ

学術研究院 地域教育文化学部 (特別支援教育) 准教授 池田彩乃 TEL 023-628-4343 メール aikeda@e.yamagata-u.ac.jp







# 山大生と聾学校生との交流学習をはじめます

特別支援教育を学ぶ山大生が企画・運営し、聾学校 の子ども達と一緒に作品を制作します。作品の一部 を八峰祭で販売します!

製作:山大生と聾学校生が一緒に制作活動

販売:作成した一部を八峰祭で山大生が販売

## 日時·場所

製作:10月5,13,17,19日 @山形県立山形聾学校

販売:10月21,22日(八峰祭) @山形大学

## 企画·運営

山形大学地域教育文化学部特別支援教育専攻有志 山形大学地域教育文化学部 教授 大村一史 准教授 池田彩乃

(aikeda@e.yamagata-u.ac.ip)

X(旧Twitter)、Instagramやってます。 @aebe yu2023 #和Be

#### 和Beとは…

「あえべ」と読むこの名称は、 「行こう」「Let's go」を表 す、山形の方言「あえべ」に 由来します。プロジェクトの 名称を議論していく中で、 いろいろな背景の人たちが 「和」して、なにものかに なっていく、なにかをつく りあげていくような状態を 表す「Be」を組み合わたこ の名称は、共生社会の実現 を目指して、未来に向かっ て進んでいく本プロジェク トの理念を体現していると 考えました。融合して新し い変化を生み出していこう とする「Go forward」な 気持ちが込められています。

## 共生社会の実現を目指して

山形大学特別支援教育専 攻では,将来教員になるに あたって必要な資質・能力 を身に付けるために、「社 会に生かせる知識の育成」 を重視しています。

山大生と聾学校生の交流 学習は,誰もが分け隔てら れることなく,相互に人格 と個性を尊重し合いながら 共生する社会を実現するた めの重要な1歩になると考 えています。

# 助成

公益財団法人やまがた教育振興財 団令和5年度「教員養成に関する調 査研究事業」の助成を受けて実施し ます。

# PRESS RELEASE



令和5年(2023年)10月5日

# 山大生が地元企業の若手社員を取材・情報発信 ~Instagram「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」第4弾~

#### 【本件のポイント】

- 若年層の県外流出という山形県の課題解決に向けて、山形大学の学生が、山形県村山地域の企業で活躍する若手社員を取材し、情報発信を行う
- 4年目となる今年度は製造業、建設業、卸売・小売、各種サービス業の20社を取材対象とし、閲覧者層の拡大を目指す
- 企業を紹介する短時間動画の企画・撮影・編集にも取り組む



【概要】

(株) とみひろ (山形市) への取材

若年層における山形県村山地域での就職・定住への関心を高めるため、学生が村山地域の企業で活躍する若手 社員を取材し、山形県村山地域で働くことの良さ、暮らすことの良さ等を、学生の視点から紹介した記事を 2020 年度からインスタグラムで発信しています。

2023年度は人文社会科学部・地域教育文化学部・工学部・医学部の学生22名が分担して企業20社に訪問します。8月から取材を開始し、若手社員に対してインタビューを開始し、村山地域で働くことや暮らすことの良さを聞き取ってきました。また10月以降、企業を紹介する短時間動画を作成します。動画編集のプロクリエイターから指導を受けながら、学生が中心となって動画の企画から撮影・編集まで行います。

取材記事は10月13日から順次、インスタグラム(アカウント @yamagata.work\_life)に掲載を開始しますので、ぜひご覧ください。

なおこの事業は、2020 年度から人文社会科学部やまがた地域社会研究所が山形県村山総合支庁から受託して 実施しており、取材した学生自身にも、山形での就職への関心を高めるきっかけになることを期待しています。

#### 【取材記事の掲載先】



インスタグラムアカウント @yamagata.work\_life 「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」



YAMAGATA.WORK\_LIFE

※インスタグラムのハッシュタグ #よしよしむらやま でも記事を検索できます。 ※インスタグラムに掲載済のインタビュー記事全文は、山形県ホームページで公開しています。

https://www.pref.yamagata.jp/301041/sangyo/sangyoushinkou/murayamachiikikigyou/yoshiyoshi\_murayama.html

#### 【これまでの成果】

2020年度は20社で118本、2021年度は25社で149本、2022年度は20社で130本(うち動画10本)の記事を作成して、インスタグラムで配信しました。

#### 【今後の取組】

企業を紹介する短時間動画を作成する予定です。現在、動画編集のプロクリエイターから指導を受けながら、学生が中心となって動画の企画から撮影・編集まで行っているところです。これまで以上に、若手社員や職場の雰囲気が伝えられるよう工夫していきます。

#### お問い合わせ

学術研究院准教授 吉原 元子 (人文社会科学部担当)

TEL 023-628-4256 メール motoko@human.kj.yamagata-u.ac.jp



インスタグラムの掲載例(2022年度)









0

むらやまで活躍する若手社員に"気になること"を山形大生が取材! 登場する若手社員は 85人以上! Instagramで山形県村山地域の魅力を見つけよう!











- ◎ #よしよしむらやま
- ◎ #山形で働く

令和5年度 働いてよし、暮らしてよし 村山の企業情報発信事業 山形県村山総合支庁産業経済部地域産業経済課 TEL 023-621-8438 受託:山形大学人文社会科学部やまがた地域社会研究所

# 掲載企業一覧

令和5年度 働いてよし、暮らしてよし 村山の企業情報発信事業

#### <山形市>

- (株) ウンノハウス
- (株) エイアンドシー
- (株) 大久保硝子店
- (株) クリーンシステム
- (福) 敬寿会
- (株) 鈴木製作所
- (株) とみひろ

ミネベアミツミ (株) 山形事業所 山形パナソニック (株)

#### <上山市>

(株) 片桐製作所

#### <寒河江市>

- (株) 高田地研
- (株) リプライ

#### <天童市>

- (株)デンソーFA山形
- (株) ニチレイフーズ山形工場

斎藤マシン工業(株)

#### 〈東根市〉

アイジー工業(株) 山形カシオ(株)

#### <村山市>

(株)コヤマ ナブテスコオートモーティブ(株)

### <河北町>

(株) 高梨製作所

(順不同)



# 令和2~4年度に掲載した企業

#### <山形市>

愛和建設(株)

税理士法人あさひ会計

(株)アサヒマーケティング

アリオンテック(株)

- (株)ウンノハウス
- (株)サニックス

サンフウ精密(株)

(株)鈴木製作所

スズキハイテック(株)

第一貨物(株)

高橋畜産食肉 (株)

田宮印刷(株)

テガラ(株)

(株) でん六

東北電化工業(株)

日本地下水開発(株)

ミクロン精密(株)

ミドリオートレザー(株)

(株)メコム

(株) メドテック

(株)ヤマコー

山形酸素(株)

山形パナソニック(株)

(株) YCC情報システム

#### <上山市>

- (株) 片桐製作所
- (株) カトーコーポレーション

#### 〈寒河江市〉

(特非)あじさい

佐藤繊維(株)

(株)スガサワ

(株) スペースパーツ山形

日東ベスト (株)

(株) マイスター

(株)リプライ

TPR工業(株)

#### <天童市>

(株)デンソーFA山形 日新製薬(株) 野川商事グループ

#### 〈東根市〉

アイジー工業(株)山形カシオ(株)

山ルハンノハ(木)

- (株)山形共和電業
- (株) 山形サンケン
- (株) 山本製作所

#### <村山市>

(株)コヤマ

蔵王米菓(株)

ナブテスコオートモーティブ(株)

山形螺子工業(株)

和光電機通信工業(株)

#### 〈尾花沢市〉

オプテックス工業(株)

#### <大江町>

(株)小堀製作所

(順不同)

過年度のインタビュー 記事全文は、山形県 ホームページに公開中!



2023/10/05版